

37.5.7 毎日(9)



科学者京都会議の会場 正面坂田教授を中心に(右側)湯川、桑原、大佛、三宅、田島(左側)朝水、谷川、宮沢、福島、田中の各氏

「科学者京都会議」開く

核兵器禁止の悲願こめて

核兵器の禁止、世界平和などの問題について科学者、知識人が話し

現代の苦悩を語り合った。

合つという「科学者京都会議」は七日午前十時から京都市右京区嵯峨、天童寺で開かれた。この日、集まったのは幹事役の湯川秀樹京大教授、朝水振一郎東京教育大校長、坂田昌一京大教授はじめ桑原武夫京大教授、田島英三立教大教授、三宅泰雄東京教育大教授、宮沢俊義立教大教授、福島英一日本学術会議委員、作家大佛次郎、評論家谷川徹三、田中慎次郎の十一氏。

午前中は、まず坂田教授があいさつを述べたあと、湯川教授が故アインシュタイン博士、パトリック・ドラスセル卿が一九五五年に提唱した核兵器禁止アヒルシの精神について説明、朝水学長がパグウォッシュ会議の経過について報告した。

午後からの運営については、出席者にはかたがた決めることとしていた。

会場はしたたかな新緑の嵐山を窓外に眺める静かな寺の本堂、この字型に並べられた粗末な机に向かい、トップクラスの科学者、知識人は落ち着いたふん囲気の中で、現代の苦悩を語り合った。

c092-015-008